

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 1 年 8 月 20 日

設置・運営主体	社会福祉法人ちとせ福祉会		
設置主体	社会福祉法人ちとせ福祉会		
経営主体	社会福祉法人ちとせ福祉会		
事業所名 (施設名)	吉川美南ちとせ保育園	種別	保育所
所在地	〒 342-0038 埼玉県吉川市美南5-12-4		
電 話	048-981-2870		
FAX	048-981-2871		
Email	hitomi_takayama@chitosek.or.jp		
URL	https://www.chitosek.or.jp/yoshikawa/gaiyou-yoshikawa.html		
施設長氏名	高山ひとみ		
調査対応担当者	高山ひとみ	(所属、職名：施設長)	
利用定員	90名	開設年	平成 28 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>【理念】 HOME—ここに集い ここに集まり ここに育み そして ここから はばたく 交友会は かかわるすべての人にとって 心安らぐ場所 HOMEでありたい</p> <p>【保育方針】 ●ゆきとどいた安全な環境と、家庭的なぬくもりの中で一人ひとりの子どもの発達に応じた保育をし、自律的な子どもを育てる。 ●保育所保育指針に基づき、保育を計画・実施・評価・反省する。また、ピアジェの構成論を学びながら保育をし、子どもたちの自律性を育む。</p> <p>【目指す子どもの姿】 ・生き生きとし、元気に遊べる子 ・友達としっかり関わり、育ち合う子 ・自分で考え、行動する子</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	月曜日～金曜日/7:00～19:00、土曜日/7:00～18:00 *延長保育/18:00～19:00		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	15	15	1		6
1歳児	15	15	1		5

2歳児	15	14	1		3
3歳児	15	15	1		2(要加配児童1)
4歳児	15	13	1		2(加配児童1)
5歳児	15	16	1		2(加配児童1)
計	90	88	6	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○保育所の場合

常勤職員数		12 人		
うち	保育士	12 人	保健師・看護師	人
	栄養士・調理員	人	その他 ()	人
非常勤職員数		12 人	(常勤換算 11.9 人)	
うち	保育士	9 人	(常勤換算 8.9 人)	
	保健師・看護師	1 人	(常勤換算 1 人)	
	栄養士・調理員	委託	(常勤換算 人)	
	その他 (保育補助)	2 人	(常勤換算 2 人)	
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>				
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1 人	非常勤： 1 人	
	退職	常勤： 1 人	非常勤： 3 人	
(3) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均年齢		歳 (33.2 歳)		
(4) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均在職年数		年 (4 年)		
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>				

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員 5 名)
なし

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	499.75 m ²	
	児童1人あたり	5.5 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	422.18 m ²	
	児童1人あたり	4.6 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 園庭面積	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	28年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・ 行事終了後のアンケート聴取
- ・ 保育参加（パパ・ママ先生）型個人面談で聴取
- ・ 送迎時にご相談で聴取
- ・ 子育て相談窓口で聴取（入園時に伝えている）
- ・ みんなの広場で聴取（地域支援事業）
- ・ ご意見BOXで聴取

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・ ピアジェの構成論を基盤とした自律性を育む保育
- 保育者が子ども達に考えさせる言葉がけを行う
- やってみようとする気持ちを育てる関わり
- グループタイムを毎日行う
（保育者が指示しなくても、一日の見通しがわかり自分で考えて動けるようになるため）
例：日にち・曜日・お天気・出欠・一日の活動・歌・発表等
- 発達を踏まえた遊びの提供
例：カードゲーム等
- 育てたい力（何を遊びの中で取り入れるかにより育てたい力が変わる）
情意的側面：自分の要求や感情を統制する力
知的側面：自分で考える力が育つ
社会的側面：みんなと一緒に遊べる力
道徳的側面：ルールを守って遊べる力

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

_____ 0 _____ 回 （平成 _____ 年度）